



NPO法人
京田辺
シュタイナー学校



Member of
WALDORF
100 LEARN
TO CHANGE
THE WORLD

シュタイナー教育100周年記念イベント in 京都

染織家 志村洋子さん講演会

「色という奇跡」

染織は科学でもあるけれど、科学で読み解けない意志

——神秘とも呼ばれてきたものの意志がその底に流れていることを証明するためにもある



100年前、「未来の社会問題の中で最も重要なのは、教育問題である」という熱意の中、シュタイナー学校は始まりました。シュタイナーは「社会問題としての教育問題」という講演のなかで、動物・植物・鉱物といった“自然界のもの”と“機械”との人間にとっての根本的な違いについて語り、人間が健全であるために自然がどれほど重要であるかを述べています。

それから100年の時を経た今、私たちは人間の能力を遥かにしのぐ機械であるAIの登場する混迷の時代を迎えています。この時代を子どもたちは、どうしたら人間らしく生きていけるのでしょうか？

染織家志村洋子さんは「草木から色を染め出す」という作業の中で自然との対話を重ねてこられました。殊に「藍を建て、染める」ことに専心されて、「五感で感じるもの、そういうものを捉えなければ藍は建たない」と言われる言葉には、子どもに向かうときにも大切にしたい“深いまなざし”を感じます。

自然界の神秘を見つめながら自然との交流を続けてこられた志村さんのお話を伺い、シュタイナーが語る“人間にとっての自然の意味”について考えてみましょう。“ここからの教育”について考えるためのヒントもいくつも見つかるのではないかと思います。

2019年

11月4日(月・祝)

京田辺シュタイナー学校 2Fホール
10:00～12:00

参加費 2,000円

申込方法 下記本校ウェブサイトの催し・講座の専用お申込みフォームよりお申込みください。

申し込み開始:9月1日～ 定員120名になり次第締切

<https://ktsg.jp/>
Fax専用ダイヤル:0774-34-0131

お足元が冷えますので、スリッパなどの上履きをご持参ください。
当日午前7時の時点で京田辺市に警報が発令されていれば、中止とさせていただきます。
6ヶ月以上のお子さまを連れての参加はご遠慮ください。



●お問い合わせ
NPO 法人京田辺シュタイナー学校 講演会係まで
E-mail / koen@ktsg.jp

主催:NPO法人 京田辺シュタイナー学校



▲ 藍の染色(上)と藍甕(あいがめ)のようす

志村洋子さんは「母からはこの仕事を継いで欲しい、とは一言も言われなかった。(中略)だが、成熟した大人になり、世界が少しずつ見えるようになると、否応もなく染織に魅かれていく自分自身がいた。」と語られます。そしてその道を歩まれる中で、“染織”の奥に科学では読み解けないもの、草木からいただく“色彩の世界”を深く体感してこられました。

そんな志村さんの“色”との日々についてお話を伺いながら、あらためて自然との交流について考えてみませんか？ここからの時代を生きる私たちにとって貴重な気付きがあることでしょう。

■ 志村洋子さんプロフィール

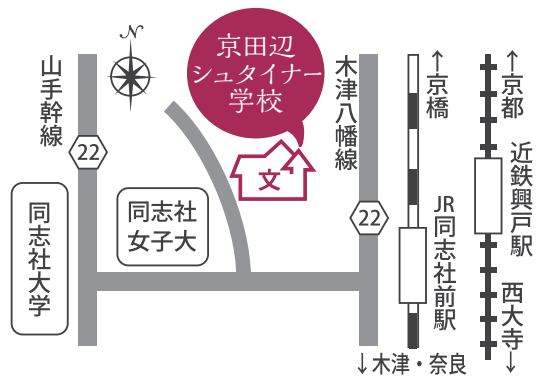
東京都生まれ。染織家、随筆家
「藍建て」に強く心を引かれ、30代から母・志村ふくみと同じ染織の世界に入る。1989年に、宗教、芸術、教育など文化の全体像を織物を通して総合的に学ぶ場として「都機工房(つきこうぼう)」を創設。

著書に『色という奇跡』、ふくみとの共著『たまゆらの道』。作品集に『しむらのいろ』『オペラ』がある。2013年に芸術学校アルスシムラをふくみ、息子・昌司とともに開校。



志村洋子さんの作品「鏡」

Access



住所：京都府京田辺市興戸南銚立 94
 ・JR 学研都市線「同志社前」駅より徒歩 5 分
 ・近鉄京都線「興戸」駅より徒歩 15 分



※本校には来客用の駐車スペースを設けておりません。ご来校の際は、できるだけ公共交通機関をご利用いただくか、最寄り駅周辺の有料駐車場をご利用ください。ご事情があり車でのご来校が必要な方は、事前にお問い合わせください。

京田辺シュタイナー学校ではメールマガジンを発行しています

催し物や講演会のお知らせを中心に、学校の様子などもお届けします。
 お申込みは学校のホームページからどうぞ。購読は無料です。

ウェブサイト <https://ktsg.jp>

主催：NPO法人 京田辺シュタイナー学校